

事業概要シート

施策	1602	観光客受入体制の整備	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く		
事業名	玖島城石垣等保全整備検討事業		拡充	予算額 6,290 千円 ≪ 0 ≫千円	
事業期間	令和6年度 ~		財 源 内 訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等	都市公園法			県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	6,290 千円
			一般財源	千円	

【事業の目的・概要・対象】

【目的】

玖島城の石垣等について、貴重な地域固有の文化的資源を保全整備し、観光資源としての活用を図る。

【概要】

歴史遺産の保全や来園者の安全確保のために、石垣の保全整備の方向性や安全対策の方法について、専門家などの意見を伺いながら検討を進めると共に、地域固有の貴重な歴史遺産としての活用や市民参加型の応援プロジェクトの展開など、新たな観光価値を創出し、観光客の拡大を図る。

【対象】

市民、県民、来園者、観光客、歴史ファン。

歴史公園100選「大村公園」玖島城石垣等保全整備検討



【背景】

慶長4年（1599年）、大村喜前公が築城し、大村氏の近世における居城として幕末まで機能した玖島城は、現在では、桜や花菖蒲の名所として、多くの市民の憩いの場となっている。

玖島城南側の大手口にある通路、通称「穴門」は、大村神社の参道へ通じる通路として、参拝者等の多くの来園者に利用されているが、穴門とはじめとした玖島城跡石垣の一部では、長い年月の経過により、石垣が内圧で外側に破裂崩壊する前兆である「孕み出し」（変形）や石材の割れ、樹木根の影響などが見られ、大雨や地震などをきっかけに崩落する危険性が高くなってきている。

担当課	河川公園課	課長	金原 剛蔵
担当者	山口 干城	問合せ先	0957-53-4111（内線436）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	定期点検実施数	回	—	—	2	2	2
②							

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	日常点検における落石確認回数	回	—	—	0	0	0
②	年間来園者数	人	421,822	420,000	450,000	450,000	450,000

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	0	0	0	6,290	20,000	20,000	46,290
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他				6,290	20,000	20,000	46,290
一般財源							0
人件費	0	0	0	2,182	2,182	2,182	6,545
職員(人)				0.30人	0.30人	0.30人	0.90人
時間外勤務(h)							0h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	8,472	22,182	22,182	52,835

妥当性 (市の関与)	都市公園法第3条の2及び同法施行令第10条（都市公園の管理基準）に基づいて必要な措置を講ずるものであり、市が実施することは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	貴重な地域固有の文化的資源を保全し、さらに新たな観光資源として活用を図っていくものであり、有効性は非常に高い。
効率性 (コスト)	専門技術者や専門的見識者による委員会で検討を行い、保全整備に係るコストの削減を図っていく。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり